



授業論Ⅱ良い授業とはどんな授業か

都立産技高専 吉田喜一

東京学芸大副学長・田中喜美氏の論考『教材論を深めよう』には次の記述がある。若干長い引用させて頂く。

『次の4つの授業を良い授業の順にならべるとすると、どんな順序になるだろうか。□分かって楽しい授業・△楽しくないが分かる授業・◇分からないが楽しい授業・□分からなく楽しくもない授業。これらのうち□が最も望ましい授業であることに異論はないだろう。問題は次にある。その次に望ましい授業は□か△か、この点をめぐっては、かなり意見が分かれると思われる。』

実は、この問題は、教科研究のリード役とみなされる仮説実験授業研究会と数学教育協議会で、1970年代前半にさかんに論議され、共通の結論に到ったものである。その結論とは、『**△**↓**□**↓**◇**↓**□**』というものであり、わかるときにはそれが必ず楽しいものであるべきであって、楽しくもないのにわからせるのは非人間的であり、だから**□**は**△**よりもよくない授業だ、というのがその理由であった。当然「楽しいだけでよいのか」という疑問が生まれる。これに対して、楽しい授業が目的であってそのために分らせるということがあってもよいし、なくてもよいとした。「楽しいだけでよい」が結論であった。』

私はこの望ましい授業の順序は誤植ではないかと思っていた。その後先生に確認したところ誤植ではなかった。最近この授業論を私は実感をもって理解できるようになった。

この授業論の高専学生の感想を紹介します。

読者のみなさんはいかがでしょうか。

◆分かるけど楽しくない授業は実際にある！話しがつまらない！けどテストはできる！◆楽しいなら続けられるし興味もわく。◆楽しい授業がいい授業だというのは嬉しいが、授業が楽しいのか、先生が楽しいのか、考えなければいけないと思う。◆なるほどと思った。楽しくても楽しくなくても、分かれればテストではいい点を取れるであろう。しかし授業が楽しくなくては、その科目に興味や自ら進んで学ぼうと思わないだろう。◆□の楽しくないが分かる授業というのは学生にとって一番やりたくない授業だと思う。授業というのは基本的に分からないことを教わるもので、その授業がつまらなくて内容が簡単であつたら、受ける気にはならないであろう。◆楽しい授業は探求心を起こす。◆分かる授業はあきると思う。先に答えを導けてしまうような授業はつまらん。分かるの範囲によってこの順は変わってくる。後で考えて分かるなら自分の見解、分からなければアウェイも納得できる。◆アウェイはやや納得。今の学校はほとんど**□**と**△**である。◆エが3番に来るのはおかしい。□はもう授業と呼べるものじゃなく、しごきのようなものだ。僕は認めない。◆分かればよいというのは良くないことだと思う。自分がやっていて興味もなくそれで楽しくもなければ、いくらできて自分にとって意味がないような気がする。◆同じ分らないなら楽しんでるよりも、楽しくない中で自分の事をやっていった方が意味があると思う。◆そういうやそうだと思つた。授業は分かっても楽しくなければのめり込めないし、分からなくても楽しくなければやる気も出るといふものだ。◆楽しくなくて分かつた。◆楽しくは簡単でくだらない授業なのかと思つた。◆楽しくても分からなければ単位が取れない。◆分かる授業は楽しいと思う。だから□はおかしい。□と△は同じだと思う。あるいは解釈によっては□が楽しみを発見できるので一番かもしれない。◆分かつてても楽しくなければよくないという事は納得できる。授業は勉強だけでなく様々なことを学ぶ場であると思う。



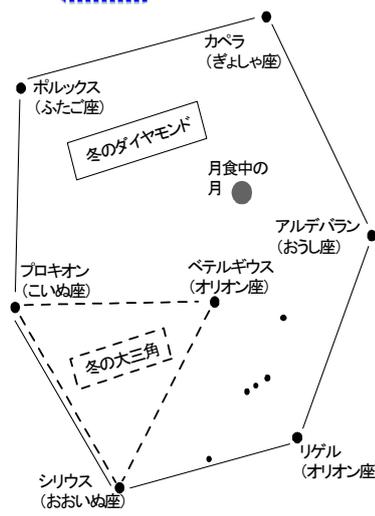
皆既月食と金環日食 東京で天体ショーの楽しみ

こんにちは。南千住5丁目・メガネのサトウ4代目です。本紙「すまいるたうん」は今回200号を迎えました。編集の鬼塚様、印刷の東京新聞様、ご覧頂いている読者の皆様に深く感謝申し上げます。

さて、先日(12月10日)夜に観測された「皆既月食」、皆様はご覧になりましたか? 空高い月を見ていると首が痛くなりそうでしたので、私は自宅の屋上で仰向けになってじっくり眺めてみました。自分の目で皆既月食を見るのは、まだ中学生だった平成2年2月9日以来、約20年ぶりだったので、刻々と姿を変え月の眺めに大いに感激しました。

当日は寒い夜でしたが、東京の空はほとんど雲のない絶好の観測条件でした。合間にネット上の書き込みを見ると、「月食だけでなく、冬の大雪や冬のダイヤモンドもしっかり見てよ!」とありました。私は「ああ、昔そういえば、理科の授業で習ったかな:」位にし記憶がなかったもので、改めて調べてから空を見ると、確かに肉眼でハッキリと見えました。東京の空は照明で明るいので、一般に天体観測には向いていませんが、逆に言えば明るい星しか見えないため、初心者でも簡単に見分けが付けられるのかもしれない。星空に疎い私にとって、この日は本当に良い勉強になりました。机の上での勉強も大事ですが、そこに実体験加えると、豊かな教養を育むこ

とになるのかなと、改めて実感しました。



(図はその時の記憶で書いたものなので、あまり正確ではありませんが、ご参考までに:。)

ところ、来年5月21日には、滅多に見られない「金環日食」が何とこの東京で見られる大チャンスがあります。当店では、安全に日食を見られる「太陽グラス」を数量限定で販売予定です(サービスマン価格500円)。只今、購入ご予約を承っております。ご来店、またはお電話でお早めにご用命下さい。年内は30日(金)夕方4時まで営業いたします。メガネのご注文、具合直しなど、どうぞお早めにご来店下さい。新年は5日(木)朝9時30分から営業いたします。それでは皆様、良いお年を!



【消費生活アドバイザー 佐藤 祐一郎】
◆メガネのサトウ◆
南千住5丁目43の13【コッ通り】
TEL 03 (3806) 4930
★休業日のごあんない★
12月: 27(火)、31(土)
1月: 1(祝) ~ 4(水)、10・17(火)
★営業時間のごあんない★
平日(月~金) : AM 9時30分 ~ PM 7時
※12月30日(金)は、PM 4時で終了致します。
土・日・祝日: AM 10時30分 ~ PM 6時

